

～大東のすごい人を紹介します～

# エエ人

Vol.113  
だいたう

## 全国障害者スポーツ大会で 大会新記録！

来年もまた大会に行きたいです

田上 亮さん (37歳)



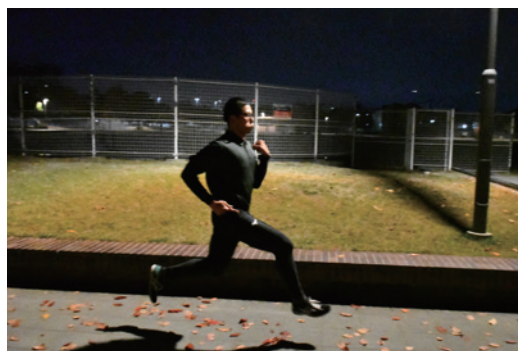
ご両親が亮さんの知的障害に気づいたのは、幼稚園に通っているときでした。障害に負けない強い子に育ってほしいという気持ちから、スイミング、体操、ソフトボールを習わせました。後に陸上競技に出会い、今回のような記録が出せたのは、幼い頃に始めたこれらのスポーツが良い影響を及ぼしていると、お母さんは話します。

### 幼い頃からスポーツに親しむ

昨年10月に佐賀市で開催された全国障害者スポーツ大会で、田上亮さんが知的障害者壮年の部、陸上200メートルと400メートルで優勝し、200メートルでは大会新記録を樹立しました。障害者の国体と言われるほど大きな大会で、今回の開会式には秋篠宮ご夫妻が出席されました。どんなに暑くても、寒くても練習を欠かさない亮さんと、厳しさと優しさで見守るご両親を取材しました。

種目	タイム	順位
200 <small>米</small>	26秒30	1位(大会新記録)
400 <small>米</small>	1分00秒51	1位

### 暑い日も、寒い日も



近くの公園でお母さんとの練習を欠かさない

東大阪養護学校(現東大阪支援学校)へ進学した亮さんは、先生に誘われ陸上競技に出会います。以来20年間、「練習をしてつらいと思ったことはありません」という亮さん。現在は、週5日、午前8時から午後5時までスイパーで働き、帰宅後1時間、陸上の練習をします。お母さんもタイムを計り、「がんばれ！」と声を掛け、励まします。少しでも練習を休むとたちまちタイムが落ちてしまうので、今日は暑いから、寒いからと言って練習を休むことはありません。亮さんが一番楽しみにしているのは、知的障害者の陸上チーム・堺ファイブズの練習です。週に2回、長居公園に仲間と集

まり、励まし合いながら練習しています。

### 仕事と陸上を両立

亮さんは過去に、障害に対する周囲の無理解から人間関係に悩み、陸上もやめ「死にたい」と心を閉ざしてしまったことがありました。お母さんは、亮さんの居場所を見つけるため、亮さんが仕事をしながら陸上を続けられる環境を探し、何度もハローワークに通い、現在の勤務先を見つけてくれました。今は、周りの人に支えられながら仕事と陸上を両立し、陸上での良い成績がまた自信につながることで職場でも頼りにされ、好循環が生まれています。

最後に亮さんに今後の目標を聞きました。「来年もまた大会に行きたいです」と迷わず答えてくれた真つ直ぐな表情がとても印象的でした。



胸には優勝メダルが輝いています

自薦、他薦は問いません。文化活動やスポーツ、地域活動などで輝いている人のご応募をお待ちしています。テーマは自由(政治・宗教・営利を内容とするものを除く)で、千字程度。写真を添えて〒574-8555 秘書広報課へ持参か郵送。多数の場合、選考します。原稿は一部文章を修正、削除することもあります。原則、1人1度限りの掲載になります。

いきいきと輝いている人をご紹介ください。